

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
柔道整復科											
臨床実習 3											
対象	3 年次	開講期	前期	区分	必※	種別	実習	時間数	45	単位	1
担当教員	有山 本澤 後藤 青木 宮 本 小西			実務 経験	有	職種	柔道整復師				
授業概要											
柔道整復師として接骨院業務を行うに必要な知識や技能を身につける事を目的とする。最終学年であるため、共通症例にて外傷のとらえ方などのを学ぶ。その症例のインフォームドコンセントの具体例、整復や固定、後療法まですべてを実践する。また、その実体験をもとに討論することでより理解を深める。											
到達目標											
医療人として必要な接遇を中心とした誘導、評価測定法を身につけそれを有効に利用し、患者に説明が出来ることを目標とする。また、共通症例では外傷のとらえ方を理解し他の疾患にも応用できるようにするだけでなく具体的な治療方法を学び実践できるようにする。											
授業方法											
1・2年生の知識を生かし円滑に接骨院業務を行えるようにする。共通症例を用いての授業は、観察力と推理力を働かせ経験したことのない外傷も対応出来るように熟考する。また、具体的な整復方法を学生間で実践するのでその際の苦痛なども理解し実際の治療に役立てる。											
成績評価方法											
課題等を総合的に評価する。											
履修上の注意											
1・2年次までの知識を総合的に使用する内容である。これまで学んだことを良く理解しないと討論に参加できないので資料等の見直しが重要となる。また、実際に外傷を想定した実技を実施するのでその心構えを持って参加してほしい。各外傷の特性の理解と、座学・実技で会得した知識・技術を反復しておくことが望まれる。											
教科書教材											
柔道整復学理論編 解剖学 適宜レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第 1 回	概要説明										
第 2 回	物理療法器械説明①および実務補助										
第 3 回	物理療法器械説明②および実務補助										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
柔道整復科	
臨床実習 3	
第 4 回	物理療法器械説明③および実務補助
第 5 回	物理療法器械説明④および実務補助
第 5 回	外傷のとらえ方⑤および実務補助
第 6 回	外傷のとらえ方①および実務補助
第 7 回	外傷のとらえ方②および実務補助
第 8 回	外傷のとらえ方③および実務補助
第 9 回	外傷のとらえ方④および実務補助
第 1 0 回	予診の取り方①および実務補助
第 1 1 回	予診の取り方②および実務補助
第 1 2 回	予診の取り方③および実務補助
第 1 3 回	予診の取り方④および実務補助
第 1 4 回	予診の取り方⑤および実務補助

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
柔道整復科	
臨床実習 3	
第 1 5 回	物理療法体験①および実務補助
第 1 6 回	物理療法体験②および実務補助
第 1 7 回	物理療法体験③および実務補助
第 1 8 回	接骨院業務の実際①
第 1 9 回	接骨院業務の実際②
第 2 0 回	接骨院業務の実際③